

～令和5年度第1回コア会議が開催されました～



令和5年8月24日（木）に「公園マネジメント会議 令和5年度第1回コア会議」が地球市民交流センターにて開催されました。

プレコア会議結果、万博20周年に向けた実行委員会の発足、新たな実践活動の場づくりについて報告が行われました。また、評価委員会委員について承認が行われました。

その後、「分科会のあり方」について問題点を整理し、解決策を協議しました。



会議前の情報提供

●公園マネジメント会議のSNS班から誕生した「モリコロパーク特派員 Facebook グループ」について紹介がありました。

プレコア会議結果報告

●昨年度までコア会議内で実践活動を行ってきたMAP班・SNS班の活動場所を見直す（コア会議外とする）ため、今後の活動方針や活動場所の検討内容について、事務局より報告がありました。

●令和5年7月5日（水）に開催されたプレコア会議での意見を踏まえて、MAP班とSNS班の活動は一旦終了するものの、**看板の更新や運用及び、動画での魅力発信（動画コンテスト）は、引き続き有志で話し合い実践を続けることとする。**この件は、改めて事務局から公園マネジメント会員へご案内する。（年内予定）

万博20周年に向けた実行委員会の発足

- 万博20周年記念事業についての情報共有を図りました。
- 万博20周年に向けた実行委員会の発足について事務局より報告がありました。
- 実行委員会会長に公園マネジメント会議 副会長 早川十八氏が承認されました。

【実行委員会の目的】

本実行委員会は、2025年3月25日（火）～9月25日（木）までの185日間に開催される、愛知万博20周年記念事業へ参画し、愛・地球博記念公園の利用促進、新たな魅力発信、都市緑化の普及啓発を図るとともに、2005年「愛・地球博」の理念と成果である「市民参加・市民協働」を継承・発展させる。

【実行委員会の役割】

ゴールデンウィークや夏休みなど多くの来園者が期待できる時期に、地球市民交流センターなどで展開（イベントを開催）する。

【進め方】

本実行委員会会長をコア会議内において決定し、それ以降は実行委員会において決定していく。

評価委員会委員について

●立候補者4団体と事務局推薦2団体の合計6団体を令和5・6年度の評価委員の委員とする提案が事務局より報告され、承認されました。
<評価委員>NPO法人スポーツサポート協会、NPO法人もりの学舎自然学校、日本工営都市空間（株）、公園緑地課、長久手市、（公財）愛知県都市整備協会

分科会のあり方について

- 令和5年度の第1回総会において会員より、分科会制度の再見直しについて意見があり、コア会議にて問題点を整理し、解決策を協議しました。
- 「イベント・運営・交流分科会」は総会時に名称の検討が必要と指摘を受け、「万博コレクション分科会」に名称変更をしたが、判断する情報が足りないため差し戻しとなりました。

【分科会運営をめぐる問題】

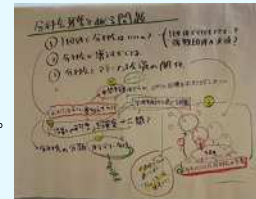
- ①分科会は1団体で構成していいのか。
- ②分科会が増えすぎでは。
- ③分科会とマネジメント会議の関係

※上記の問題点を参考に、分科会の運営をどうしていくべきなのか意見を出し合った。

【意見交換後の全体共有】

1. **最新の「活動の手引き」**を確定し、会員の皆さんに共有する。
⇒総会時に添付した「施設の利用」に内容を盛り込んで、1冊にまとめた。
2. **分科会のカテゴリ分け**が必要である。カテゴリを申請時に選択してもらう必要があるため、申請書に反映させる。
3. **1団体で出来るようなことはわざわざ分科会をつくらなくてもいい**のではないかと。分科会の目的ややり方について整理する必要がある。
4. コロナ前は情報共有が定期的に行われていたが、コロナ禍でいろんな活動が縮小されてしまった。分科会の**中間報告や成果報告の情報を共有できるルールづくり**が必要である。

👉次回、より具体的な解決策の設定に進んでいきたい。



新たな実践活動の場づくりについて

●新たな実践活動の場づくりについて、目的や活動フローなどが事務局より報告がありました。

1. 目的

- ①中長期的（計画的）に行う分科会活動とは別に、**短期で協働して行える活動の場**を設置する。
- ②団体を超えて、**各個人の繋がりを強化**し、より気軽に園内活動ができるものとする。
- ③**会員以外とも協働して実践活動**を行うことで、新規会員募集の役割を期待するものとする。

2. 活動フロー（イメージ）

- 【Step1 応募】各会員様から事務局（愛知県公園緑地課）へ申込書を作成して提出
- 【Step2 確認】事務局が公園管理事務所と開催の可否について確認後、申込者へ連絡
- 【Step3 募集】事務局にて、申し込みがあった活動に協働できるように呼びかけ
- 【Step4 実践】実践活動 ※活動後2週間以内に申込者は報告書を作成し、事務局へ提出
※活動への応募は団体でも個人単位でも可とし、手順は変わらない。

3. 試行運用期間

令和5年度 第2回コア会議（10月頃開催予定）から年内もしくは年明け（2、3ヶ月）を目途に試行運用し、本制度の結果及び改善点を整理した上で、第4回コア会議（令和6年2月頃開催予定）への報告を目指す。

4. 名称

名称についてはコア会議出席者による多数決により決定することとする。
<事務局より>名称については、事務局案で、次回の試行運用開始の時にお示ししたい。

お問い合わせ先

公園マネジメント会議 HP
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部
公園緑地課(協働グループ)
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL : 052-954-6491 FAX : 052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会
愛・地球博記念公園管理事務所
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL : 0561-64-1130 FAX : 0561-61-2150